



2026年6月15日

各位

会社名 株式会社ひかりホールディングス
(コード番号 1445 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 倉地 猛
問合せ先 取締役経営管理本部長 立川 征吾
T E L 0572-56-1212
U R L <https://www.h-holdings.jp>

「TOKYO PRO Market への上場目的の開示」に関するお知らせ

当社は、株式会社東京証券取引所が2026年4月3日付けで公表した「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」に基づき、当社のTOKYO PRO Market への上場目的及びその実現に向けた進捗状況および今後の成長戦略について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 上場の目的

当社グループは、「最強の中小企業集団を作り、その技術と人材を後世に継承し、社会に貢献する」を企業ミッションに掲げ、そこで働く全ての役職員の幸福度を追求する組織であり、その企業を永続させ、培われた技術を継承する人材を育てる環境を追求することで社会にとって必要とされる技術や人材を後世に残していくことを目的としております。

本拠を岐阜県多治見市に置いており、やきもの文化のまちとして美濃焼とともに発展し、現在では「タイルのまち」として伝統産業を行っております。各地方の伝統産業は、ものづくりで日本の象徴となっている反面、需要の低迷、人手不足、後継者難に苦しむ企業が多く、タイル業界に関しても、海外の低価格商品の流通、50年前の商流が今なお続いている硬直した旧来の商流、後継者不在により単独での生き残りや成長が難しいなど、多くの課題を抱えております。そのようななか、当社は、タイル業界に関わる内装・外装材製品の加工、建築工事、輸入仕入販売をグループ化し、グループ各社が持つ「強み」を伸ばし、「弱み」を補完しあえるグループインフラを構築することで、タイル業界に関わる中小企業の活性化を行ってまいりました。また、2016年6月からは、もう一つの柱でもある電気通信工事事

業をはじめ、土木工事業を子会社化したことで、現在は他業種への展開による多角化も進展しております。

当社は、2018年5月に TOKYO PRO Market へ上場した後も積極的な M&A を行っており、当社グループ全体としての社会的信用力、知名度及び透明性、金融機関に対する信用力向上、役職員その他のステークホルダーからの信頼を得ることで、グループ拡大、各事業会社の持続的成長及びグループ全体の企業価値向上を実現することを主な目的としております。また、上場会社として求められる情報開示、内部管理体制及びコーポレート・ガバナンス体制を一層強化し、当社グループが長期的に信頼される企業グループとなるための経営基盤を構築してまいりました。なお、当社グループは、上場目的の実現状況を評価する指標として、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益などの連結経営成績、純資産、自己資本比率などの連結財政状態、各種連結キャッシュフロー並びに、内部管理体制及びコーポレート・ガバナンス体制の整備状況を重視し、グループ全体の企業価値向上を図ってまいります。

2. 中長期的な成長戦略

当社グループは、グループインフラを活用し事業会社の垣根を超えた最大限のシナジーを生み出したオーガニックの成長と、商流の川上から川下までグループで完結する組織を目指しており、事業会社にとってシナジー効果が期待できる企業との縁があった場合に M&A を行うことを、中長期的な成長戦略としております。そのため、M&A 案件の検討件数及び成約件数などの指標だけではなく、グループインした事業会社と既存の事業会社の継続的な PMI (Post Merger Integration) に基づく、目標達成指標 (KGI / Key Goal Indicator)、業績評価指標 (KPI / Key Performance Indicator) を每期更新し、営業先の共有による販路拡大、グループ間取引の拡充、職人手配の相互補完などを行い各事業会社の売上高、営業利益、経常利益を継続的に確認してまいります。

また、当社グループは各種工事会社を主軸としておりますが、当業界においては人手不足が課題となっております。この課題を解決するため、当社にグループ全体の採用を行うチームを組成し、施工人材を中心とする人材採用をグループとして行うほか、未経験者及び外国人を中心に多能工技術を習得できる職人学校の設立 (仮称：クラフトマンスクール) を準備しております。

さらに、施工管理から受発注～原価～請求・外注までの一連の業務管理が可能となるシステムを構築し、業務効率化を図れる IT ツールを導入することを事業戦略として考えております。

3. 一般市場への上場予定市場及び上場準備スケジュール

当社は、前述のとおり地元岐阜県多治見市の伝統産業である「タイル」に関連する事業を展開しております。この地元の伝統産業をより発展させ、地域経済の活性化に貢献するため、東海地方の企業成長を支援する名古屋証券取引所ネクスト市場への上場を目指しておりま

す。同市場への上場が実現した場合には、東海圏の経済界の助力を得て、更なる業界発展のため尽力し、当社グループの持続的な成長及び企業価値の向上を目指してまいります。その実現に向け、現在は収益基盤の強化、内部管理体制の整備、ガバナンス体制の充実、および適時開示・IR体制の高度化等に取り組み、上場企業として求められる体制の構築を進めております。

連結売上高 56 億円、連結経常利益 2 億円の達成を一つの目安として、グループ規模、収益性、株主構成、資本政策、市場環境及び内部管理体制の整備状況等を総合的に勘案しながら、同市場への上場申請に向けた具体的な準備を進め、2～3 年後の一般市場への上場を目指してまいります。

4. 今後の開示方針

当社は、今後も TOKYO PRO Market 上場の目的の実現状況について定期的に評価を行い、必要に応じてその進捗状況及び今後の対応方針を開示してまいります。

(注) 本資料に記載された内容及びスケジュールは、現時点での当社の計画及び予定に基づくものであり、当社の今後の業績や取り組みについて確約するものではありません。

以上